

知っていますか？

お酒はがんのリスクを高めます

WHOは「飲酒は口腔、咽頭、喉頭、食道、結腸直腸、肝臓と女性の乳房の癌の原因である」としています。お酒の量が増えるほど、発がんのリスクが高くなります。がん予防の視点からお酒との付き合い方を考えてみませんか。



多量飲酒で特にがんになりやすい部位

頭頸部がん (口腔・咽頭・喉頭がん)

- 飲酒量に比例してリスクが増大する。

初期症状

- 口腔がん
歯のぐらつき、腫れ、出血、口内炎が治らないなど
- 咽頭・喉頭がん
声のかすれ、のどの違和感、飲み込みにくさなど

乳がん

- 飲酒量に比例してリスクが増大する。

初期症状

- しこり、ひきつれ、乳頭の湿疹やただれなど

食道がん

- 飲酒量に比例してリスクが増大する。
- 個人のアルコール分解能力によって差がある。(下記をご覧ください)

初期症状 食べもの・飲み物がしみる

肝臓がん

- 1日3合以上飲む人はリスクが2倍になる。
- 女性は男性に比べて影響が大きく、1合で3.6倍に上がる。

初期症状 なし

大腸がん

- 日本男性の大腸がんの1/4が飲酒に関係している。

初期症状 ほとんどなし

食道がん・乳がん・大腸がんは
検診で早期発見
することができます。

お酒で顔が赤くなる人は要注意です

顔が赤くなるのはアルコールの代謝でできるアセトアルデヒドという物質の作用です。お酒が弱い人はアセトアルデヒドが体内に蓄積されやすく、咽頭がん、食道がんなどの発がんリスクが高まると言われています。



がんリスクは5つの健康習慣を実践することで ほぼ半減するといわれています



断酒をする

禁煙・受動喫煙を
避ける適正体重を
維持する

食生活を見直す

「塩分の取りすぎない」

「野菜や果物をとる」

「熱すぎる飲み物や食べ物を少し冷ます」

がん予防にはアルコールを飲まないのがベストです。

飲まない人、飲めない人は無理に飲まないようにしましょう。

もし飲む場合は男性で1日2ドリンク、女性、または高齢者は1日1ドリンクまでとしましょう。

6ドリンク以上は
多量飲酒に
当たはまります

●ビール	缶 1本(350ml)	1.4 ドリンク
●ストロング系チューハイ	缶 1本(500ml)	3.6 ドリンク
●ウイスキー	シングル 1杯(30ml)	1 ドリンク
●焼酎	1 合	2.9 ドリンク
●日本酒	1 合(180ml)	2.2 ドリンク
●ワイン	ワイングラス 1杯(120ml)	1.2 ドリンク

出典…厚生労働省 e- ヘルスネット「飲酒量の単位」

あなたの飲みかたは大丈夫?

CAGE(ケージ)法 -Ewing JAによる- で あなたの飲酒をチェックしてみましょう!

過去に次の経験がありましたか？

- 飲酒量を減らさないといけないと感じたことがある 自分の飲酒について、悪いとか申し訳ないと感じたことがある
- 他人があなたの飲酒を非難するので、気にさわったことがある 神経を落ち着かせたり、二日酔いを治すために「迎え酒」をしたことがある

あなたはいくつ

当たはまりましたか？

2項目以上なら「アルコール依存症」の可能性があります

アルコール依存症とは??

- 飲酒をやめたいと思っていても、やめられない場合は、依存症の可能性があります。
- 依存症は、特定の行動をコントロールする脳の機能が弱くなる病気です。
- 「意思が弱い」とか「根性がない」からではありません。



依存症は回復可能な病気なので、早く専門的な治療を受けることが大切です。
しかし、「否認の病」とも言われ、依存症であることを自分で認めにくい特徴があります。
また、怒りの感情から飲酒が促されることが分かっています。本人が拒否する場合には、まず家族が相談や受診をすることも大切です。

四日市アルコールと健康を考えるネットワーク



三重県立総合医療センター 地域連携課 かけはし

059-347-3519

市立四日市病院 地域連携・医療相談センター サルビア

059-354-1111

四日市羽津医療センター 地域連携室 すずらん

059-331-6003

総合心療センターひなが

059-345-2356

泊ファミリークリニック

059-348-7800

四日市市保健所 保健予防課

059-352-0596